

訂正とお詫び

画像診断 2017 年増刊号 Vol.37 No.4 において、下記の箇所に誤りがございました。
ここに訂正するとともに、読者の皆様に深くお詫び申し上げます。

(2017 年 3 月 21 日)

頁数	誤	正
第4章 胸部 2. 肺・胸壁 p.s126 図13 説明文	A:…頸胸徴候 (cervicothoracic sign)陽性 であり、…	A:…頸胸徴候 (cervicothoracic sign)陰性 であり、…

(補足説明)

上縦隔に腫瘍性病変があって腫瘍辺縁が鎖骨よりも下方では境界明瞭で、鎖骨より上方で境界不明瞭に描出されるときに頸胸徴候 (cervicothoracic sign) 陽性という。前頸部腫瘍が気管前方を下降して胸腔内に突出したと判断される。

鎖骨よりも上方でも境界明瞭に描出されるときには頸胸徴候陰性といい、気管よりも後方の腫瘍であることがわかる。後縦隔腫瘍や肺尖部腫瘍で見られる所見である。